

■日時 令和3年8月18日(水) ■天候 晴れ 川崎市立橋高校 対 神村学園高等部・福岡・通
 ■球場 駒沢硬式野球場 第3試合 準決勝 ■試合時間 2時間22分 ■備考
 ■審判 球審:佐々木優 塁審:上松 仲田 河村

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
橋	神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	8	3
神村学園 福岡・通	東九州・福岡	0	0	0	0	0	3	3	2	×	8	11	2

橋		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	三		平井 開路	4	0	0	0	遊ゴ		四球		三ゴ		中飛		二飛
2	捕	二	矢部 和真	4	0	1	0	投飛		右安			二失	二ゴ		四球
3	二	捕	相澤 奨吾	4	0	1	0	三ゴ		一ゴ			右安		投ゴ	四球
4	一		大野 希海	4	1	3	0		中安		左安		*1		左2	三振
5	遊		三浦 翔	5	1	1	0		中安		二ゴ		三振		三失	捕邪
6	投		三浦 翼	4	1	1	2		三振		三振		三振		左2	
7	左		熊谷 卓哉	4	0	0	0		三振		一飛		三振		三ゴ	
8	右		小森 愛里	3	0	1	0			三振		投ゴ		右安	四球	
9	中		大石 優希	4	0	0	0			投ゴ		三振		投ゴ	三振	
合計				36	3	8	2	残塁:11 併殺:1								
備考				*1は申告故意四球												

■バッテリー

投手	捕手
三浦 翼	矢部 和真
	相澤 奨吾

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
三浦 翼	8	42	11	2	8	6	151

神村学園 福岡・通

神村学園 福岡・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	右		大村 輝	2	1	0	0	投ゴ		死球		死球		左飛	四球	
2	捕		廣田 敦也	5	1	2	2	三振		中飛		三ゴ		中2	中2	
3	投		川口 優羽	3	1	1	0	四球		投併		一邪		投安	四球	
4	遊		稲永 和彦	3	2	3	1	三安			四球		四球	左安	中安	
5	一		川原 英也	4	1	2	2	四球			一ゴ		二安	中2	二ゴ	
6	二		崎田 和音	5	1	2	2	遊ゴ			一邪		中3	右安	一邪	
7	中		小野田 直亮	4	0	0	0	投ゴ			二飛		右飛	三振		
8	左		濱田 祐斗	4	0	0	0		一飛			三失	一邪	三ゴ		
9	三		木下 裕太	4	1	1	0		中安			投ゴ	二ゴ	捕失		
合計				34	8	11	7	残塁:10 併殺:0								
備考																

■バッテリー

投手	捕手
川口 優羽	廣田 敦也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
川口 優羽	9	41	8	10	5	1	138

■戦評

準々決勝に引き続き駒沢球場で行われた準決勝は川崎市立橋高校と神村学園高等部・福岡・通信制の対戦となった。同日行われた準々決勝をもにコールドで制しており、どちらの勢いが勝るのかに注目が集まった。試合は先発の両主戦投手の好投で5回までスコアボードに「0」が並ぶ。6回先攻の橋は敵失と安打により無死一三塁と好機を作る。ここで神村学園・福岡は橋4番大野を申告故意四球で歩かせ満塁策を取る。続く5番三浦翔の二球目、投球が打者にあたり橋先制かと思われたが打者が避けておらず判定は「ボール」。神村学園・福岡先発川口はここからギアを上げ三者連続三振でこのピンチを切り抜ける。するとその裏無死一二塁から6番崎田が中堅越適時三塁打を打ち送球が乱れる間に自らも生還し、神村学園・福岡が3点を先制、7回2番廣田からの4連打で3点を追加。このままでは終われない橋は8回一死一三塁から先発力投を続ける6番三浦翼が2点適時二塁打を打ち捕逸で自らも生還し3点を返すと、9回一死から連続四球により好機を作るが後続が絶たれ万事休す。8回にも2点を追加した神村学園・福岡が8-3で勝利し決勝に駒を進めた。一方惜しくも敗れた橋であったが、主将の4番大野を中心に攻守によくまとまっており、その力は全国三位の名にふさわしいものであったことは言うまでもないであろう。